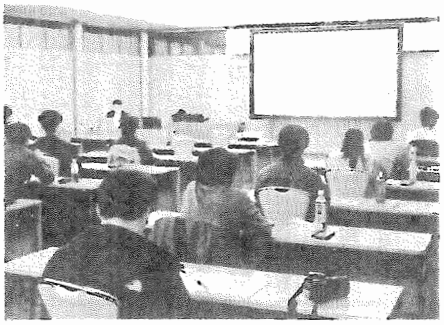
令和８年１１月９日　北海道通信

３次元点群測量学ぶ

日測協道支部　旭川で講習会

【旭川発】日本測量協会北海道支部（橋本幸支部長）は５日、旭川市大雪クリスタルホールで公共測量技術講習会を開催した＝写真＝。３次元点群測量をテーマとしたもので、旭川や札幌などから会員企業の技術者14人が受講。受講者はＵＡＶレーザ、地上レーザを中心に作業規程の準則の概要、品質管理について理解を深めた。



開会あいさつに立った住田英二専務理事は「点群測量の需要は一気に高まっている。講習を通じて、準則の考え方や記載内容について理解を深め、今後の実務や現場作業に生かしてほしい」と呼びかけた。

講習会では、住田専務理事が作業規定の準則のポイントを解説したほか、認定講師であるアジア航測㈱の坂口智哉氏が３次元点群測量の概要、地上レーザ測量・ＵＡＶ写真点群測量の準則や作業場の留意点などを説明した上で、演習問題を解くことで知識の定着を図った。

このあと、専任講師である測量技術センターの笹嶋英季氏が、品質管理における検定概要や計測機器の点検などを解説した。